長嶺中学校コミュニティースクール

1, コミュニティースクールとは

保護者や地域住民の皆さんが責任をもって学校運営に参画する仕組みで，学校運営協議会（合議制の機関）を設置した学校を指し，「地域とともにある学校づくり」を推進することを目的とした国の制度になります。

2, コミュニティースクールの委員について

「豊見城市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」（第５条）において定められており、次のような構成です。

（１） 地域住民　（２） 保護者　（３） 学校の運営に資する活動を行う者
（４） 学校の校長　（５） 学校の教職員　（６） 学識経験者
（７） 関係行政機関の職員　（８） その他、教育委員会が適当と認める者

3, 長嶺中の委員紹介

狩俣　稔　さん
法務省那覇保護観察所保護司
豊見城市自治会会長

濱元　秀夫さん
豊見城市
第三民生委員児童委員協議会監事

榮野元康一さん
豊見城教育委員会市
サポート教室とよむ室長、元教員

宮城　恵　さん
豊見城市議会議員、根差部花友会

川満　玄治　さん
豊見城市議会議員、根差部花友会
PTA 副会長

知念　章太　さん
豊見城市商工会青年部長
有限会社　広設工業代表取締役

赤嶺　睦夫　さん
精神保健福祉士、社会福祉士、
法務省那覇保護観察所保護司

木戸　香織　さん
認定スクールソーシャルワーカー、
社会福祉士、精神保健福祉士、
公認心理師

金城 隆也 さん
法務省那覇保護観察所保護司
NPO あきづ代表、豊見城市商工会
青年副部長

我喜屋 賢さん
PTA 会長

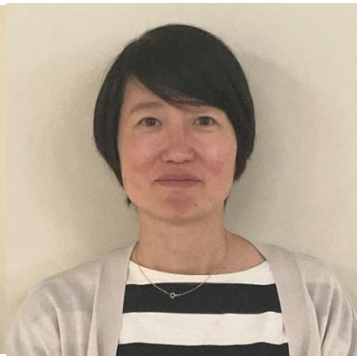
兼島 直美 さん
いろは印刷、豊見城市商工会青年部
絵本有志の会(地元の歴史・文化広め隊)

平良利江子さん
豊見城市地域学校共同推進員
長嶺中担当

校長
新崎 峰子

教頭
安座間 裕哉

生徒指導主任
宮良 孝



教育相談
前花 和香子

4, コミュニティースクールの役割は

①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する

○ 育てたい子供像や目指す学校像に関する、学校運営のビジョンを共有
○ 学校と協議会が対等な立場に立ち、お互いに当事者意識を持って、目指すところを共有し、協働へとつなげていく

②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる

○ 保護者・地域の声を学校運営に生かし、その意見を反映させる
○ 個人の意見がそのまま尊重されるのではなく、保護者や地域住民等の代表による合議体として意見を述べることになります

③教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

○ 実現しようとする教育目標等に適った教職員の配置を求めるための重要な機能
例;英語教育の充実、体力向上、情報教育の推進ICT

5 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の主なメリット

校長、教職員の異動に左右されない	→	組織的・持続的な体制の構築　＝　持続可能性
目標・ビジョンの共有	→	当事者意識・役割分担　＝　社会総掛かり
基本方針の承認	→	目標・ビジョンを共有した協働活動

個人個人のがんばりに依存していた学校支援

共通の目標に向かい、負担を皆で分け合い、組織的に学校を支え、持続可能な仕組み

これまでの学校

個別の活動

総合化・ネットワーク化

学　　校

豊見城市教育委員会

6 コミュニティ・スクールの意義

地域とともにある学校への転換	・「開かれた学校」からさらに一歩踏み出し、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む**『地域とともにある学校』**への転換
子供も大人も学び合い育ち合う教育体制の構築	・地域の様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく**「子供も大人も学び合い育ち合う教育体制」**の構築
学校との協働による地域活性化の推進	・学校との協働の取組を通じて、**地域の将来を担う人材を育成**し、**自立した地域社会の基盤の構築**を図る

7 地域とともにある学校運営に欠かせない3つの機能

熟議	**地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有**するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねることが大切です。熟議の実施により、子供たちに関わるより多くの方の意見を取り上げることができます。
協働	「熟議」の実施を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が**「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していくこと**が大切です。
マネジメント	その中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョンの達成に向けて学校内の組織運営を管理することにとどまらず、**地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営**を行っていく力が必要です。

豊見城市教育委員会

8 コミュニティ・スクールが充実すると

子供にとっての魅力

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

教職員にとっての魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。

コミュニティ・スクールが充実すると

保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

9 「地域とともにある学校」と地域との連携・協働の姿

共有した目標に向かって、対等な立場の下で、
共に活動する協働関係

双方向性　　対等性

豊見城市教育委員会

10 ◆ 令和７年度　豊見城市コミュニティ・スクールスケジュール

４月	⇒	各校ＣＳ委員選定、 ＣＳ保護者・地域説明会の実施 各校ＣＳ委員氏名報告（15名以内）
５月	⇒	第１回 合同ＣＳ協議会・ＣＳ研修会実施
６月以降	⇒	第2回～5回の会議の実施 （各学校の計画による）
１０月	⇒	第2回ＣＳ研修会
１月以降	⇒	次年度準備・計画